

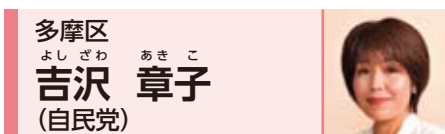
中原区
まつかわ しゅうじろう
松川 正二郎
(みんなの党)

■各防災計画への市民意見の反映
 ③市民の声を把握するため各職場・学校などでDIG(★5)などを導入しては。
 ④ワークショップやDIGなどを活用して市民の声を伺い、地域ごとに計画を策定し、それを市の各種防災計画に反映させることも有効な手法と考える。



DIG(災害図上訓練)の様子

■ごみ収集の回数変更の住民説明
 ③説明手法をバージョンアップしては。
 ④収集回数の見直しの趣旨や目的などについて、現在、作成中のDVDを活用しつつ、図・グラフなどを用いた分かりやすい資料で懇切丁寧に説明していきたい。



多摩区
よしざわ あきこ
吉沢 章子
(自民党)

■県の政策変更に伴う市への影響
 ③県の緊急財政対策で見直しの対象となっている県単独事業の件数と補助金額は。
 ④重度障害者医療費給付事業に係る補助金など13件、合計約15億8千万円である。
 ■支援が必要な子どもへの対応
 ③いじめや不登校、暴力行為などで支援が必要な子どもに発達障害などの可能性がある場合の対応は。
 ④小学校の特別支援教育コーディネーターが、諸問題に対し一人一人の子どもやその保護者に必要な支援を迅速・的確に行えるよう、機能を拡充していきたい。

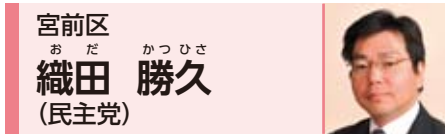


中原区
よしおか としすけ
吉岡 俊祐
(公明党)

■介護保険制度の周知
 ③要介護認定者は75歳以上の占める割合が高い。後期高齢者医療制度の通知にあわせ介護保険制度も再度周知すべきでは。
 ④介護サービス利用の再周知は効果的と考えるため、市として可能な周知方法を検討していきたい。
 ■市内交差点の歩車分離
 ③歩車分離式信号機の整備推進に向け、交通管理者に申し入れるべきでは。
 ④信号交差点での交通事故の防止に有効と考えるため、積極的に市内警察署に対して導入の検討を依頼していきたい。



市内に設置されている歩車分離式(スクランブル方式)信号機

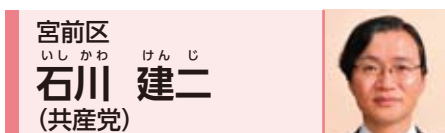


宮前区
おだ かつひさ
織田 勝久
(民主党)

■北部市場の産業廃棄物処分業許可
 ③新規業者が用途地域外の北部市場で既存の産業廃棄物処分業を引き継いで行う場合、あくまでも許可は一代限りであるとの見解を過去に何度も聞いてきたが、処分業の新規許可は違法では。
 ④法令適合性など、よく調べて判断をする。
 ■市バス減敷停留所の利便性の向上
 ③減敷交番前交差点を挟む2カ所の「減敷停留所」をそれぞれ別個の停留所として、バスを停車させることへの対応は。
 ④25年度の北部地域での運行ダイヤ改正に合わせて実施を検討していきたい。



運行ダイヤなどを確認できる川崎市交通局のホームページ



宮前区
いしかわ けんじ
石川 建二
(共産党)

■県立東高根森林公園
 ③県の緊急財政対策の中で移譲を含めた検討が示されているが、県からの説明は。
 ④都市公園であることも踏まえつつ、県の指定管理の更新時期である25年5月ごろに一定の調整を図りたいと伺っている。



県立東高根森林公園

■宮前区役所への交通アクセス改善
 ③区役所と鷺沼駅、宮前平駅を回るバス路線整備を検討中とのことだが、運行方式や料金設定などの考え方は。
 ④さまざまな可能性があるため、今後の庁内関係部局、関係各機関やバス事業者との検討、協議事項の一つと考えている。



川崎市
しまざき たかひこ
嶋崎 嘉夫
(自民党)

■市営住宅内での事故対応
 ③住宅建物内の共用部分での事故は市民総合賠償責任保険の対象外とのことだが、市に管理瑕疵があった場合はすべて適用対象とする措置を講ずるべきでは。
 ④他都市の状況を踏まえ、市住宅供給公社による24年度中の保険契約加入手続きについて、協議・調整を図りたい。
 ■多摩川河川敷の放射能汚染土壌
 ③25年3月までの除去を目指すとのことだが、除去した土壌の保管場所や処分は。
 ④国での対応を要請し協議を進めており、土壌の除去を最優先し措置を講じていく。

用語の解説

★5 DIG

災害(Disaster)－想像(Imagination)－ゲーム(Game)の頭文字をとって名付けられた、災害図上訓練の一種です。

議長・副議長の主な出席行事
(24年10月～12月)

- 24年10月
 - 6日(出) 第39回川崎みなと祭り開会式
 - 10日(水) 平成24年度川崎市戦没者追悼式
 - 29日(月) 川崎商工会議所 新会館竣工式
 - 30日(火) 第50回川崎市社会福祉大会
- 24年11月
 - 2日(金) 第35回かわさき市民祭り開会式
 - 3日(出) 市民と働く者のフェスタ2012
 - 9日(金) 第27回川崎市全町内会大会
 - 13日(火) 「映像のまち・かわさき」推進フォーラム全体交流会
 - 18日(日) 2012川崎国際多摩川マラソン
- 24年12月
 - 8日(出) 障害者週間記念「第32回川崎市民のつどい」
 - 21日(金) 平成24年度川崎市優良業者表彰式



宝くじ「幸運の女神」の表敬訪問の様子(24年11月29日)
大島 明議長(左) 岩崎善幸副議長(右)

※今定例会で、公共事業などの財源に充てるため、25年度の当せん金付証券(宝くじ)の市内での発売の限度額を130億円に定める議案を可決しました。宝くじ販売額の約40%は収益金となり川崎市に配分されています。

このほか、各種行事に出席しています。

川崎市議会ニュース

『新たな大都市制度について』議員研修会を開催

24年11月26日の本会議終了後、伊藤正次首都大学東京大学院教授を講師に迎え、議員研修会を開催しました。現在、道府県と政令市による「二重行政」の解消などを目的に、各地の自治体から様々な制度改革が提案されています。研修会では伊藤教授が委員を務める国の第30次地方制度調査会での議論なども紹介しながら、大都市制度をめぐる論点を整理し、今後の議会審議に向けて意見が交わされました。



全国市議会議長会・国会対策委員会 地方行財政対策について国へ要望

大島 明議長が委員長を務める全国市議会議長会の国会対策委員会が、25年度政府予算の編成に当たり、地方交付税の増額など地方に配慮すべき事項を要望書としてまとめ、25年1月18日に甘利 明経済再生担当、社会保障・税一体改革担当、内閣府特命担当大臣(経済財政政策)などに面談し、要望を行いました。



甘利 明大臣に要望書を手渡す大島議長(左から2番目)

川崎市議会議員海外視察

議員海外視察は、欧州班、北米班の2班編成で実施しました。視察に当たり、エネルギー政策などのテーマを設定し、テーマに基づいた視察項目や視察先を決定して調査を実施しました。また、姉妹・友好都市であるオーストリア・ザルツブルク市や米国・ボルティモア市の各市議会を訪問し、他都市との交流も深めました。調査内容の関連項目を第4回定例会で質問として取り上げるなど、市民生活や市政の発展の寄与につなげています。

| 欧州班 | 北米班 |
|-----------------------|----------------------|
| 期 間 24年7月22日～7月29日 | 期 間 24年10月21日～10月26日 |
| 視 察 先 オランダ、オーストリア、ドイツ | 視 察 先 米国 |
| 参加議員 鍋木茂哉団長ほか16人 | 参加議員 坂本茂団長ほか15人 |

海外視察の報告書は、市議会ホームページの広報ページに掲載しています。
 議会局庶務課 ☎200-3354

可決した意見書

■ウルトラ・オーファンドラッグの開発の促進及び支援のための法整備等を求める意見書
 ※議決した議案、可決した意見書の本文は市議会ホームページに掲載しています。

お知らせ

2月14日から25年第1回定例会が開かれています。この定例会では、主に25年度の予算案などを審議します。会期日程などの詳細は市議会ホームページをご覧ください。